

TEGO ネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成26年3月10日 第82号
浜田市農林業支援センター

はじめに

浜田市農林業支援センターでは、JA 及び浜田市の職員において業務を行っていますが、この3月のJAの人事異動により職員の移動がありましたのでお知らせします。

土井眞代職員が浜田営農経済センターに異動となり、新たに松岡陽子職員が配属となりました。まだまだ若い職員ですので皆様方からのご指導を宜しくお願いします。

また、今年も近日中に水稻生産実施計画書を送付させていただきますのでご確認のうえ提出方をお願いします。
(浜田市農林業支援センター長 大谷 十三一)

1. 各支援チームからの話題

★ 新規就農者支援チーム (担当: 稲田・中田)

新たな農業研修生が誕生しました

3月4日、農業研修希望者を対象とした審査委員会を行いました。先般の現地視察会において受入先を訪問し、希望者からの申請を受け、短期研修を行った後の開催となりました。

今回は5名の方が希望されました。審査委員会では本人の農業に対する思いや今後の展望などをお話いただきました。審査委員からは、これまでの経歴や今後の考えなどの質問にあわせ、しっかりと農業技術を学び、一日でも早く担い手として頑張ってもらいたいとエールが送られました。

審査の結果、全員が合格となり、4月1日からの研修に向けて準備が進められています。



● 認定農業者支援チーム (担当: 中田・稲田)

イチゴ狩りの季節!



金城町の認定農業者 有限会社KKNと合同会社めぐりこるWESTが共同で運営する観光農園「きんた農園ベリーネ」では、イチゴ狩りがシーズンとなっています。

1月より本格的に始まった観光農園には、「紅ほっぺ(べにほっぺ)」「さちのか」「章姫(あきひめ)」の3品種のイチゴのほか、今シーズンより、高いビタミンC含有量を誇る品種の「おいCベリー」が新たに加わり、ハウスの中で真っ赤に色付き、来園者をお待ちしております。また、食べ放題は、50分となっており、ゆったりとできる入園時間となっています。

摘みたて新鮮な完熟イチゴの爽やかな甘みと酸味を、ぜひお楽しみください。観光農園は、予約制で、5月頃までとなっておりますのでお早めどうぞ。

■ 集落営農組織支援チーム (担当: 田原・森脇)

集落営農連絡協議会視察研修

3月3日、集落営農組織連絡協議会の視察が行われました。今回の視察では松江市鹿島町の集落営農組織「農事組合法人 みのりの里講武」を視察し、浜田市・江津市の6集落営農組織の方々11名が参加されました。

「みのりの里講武」は、大豆の団地転作に取り組んでいた集落営農組織と味噌加工を中心に活動していた加工グループが一体となり、平成14年に設立された組織です。現在は大豆だけでなく野菜栽培に取り組む他、地域の畜産農家と利用供給協定を締結してWCSの栽培にも取り組んでおられます。また、加工部門においては従来の味噌だけではなく、菓子や惣菜など多様な品目を製造して多角的な経営を行っています。平成24年には島根県立農林大学校の卒業生を雇用することができたとのことで、浜田市の集落営農においても課題となっている人材確保についての有意義な情報を得ることができました。

今後も当支援センターでは、このような良い情報を発信していきます。



2. ミクニマルシェフェアが開催されました

2月21・22日に東京都の「にほんばし島根館」において、昨年度に引き続き2度目となる「ミクニマルシェフェア」が開催されました。

このフェアは「はまだ食の大使 三國清三シェフ」が認定する浜田市の食材をPRするもので、今年度は認知商品28のうち15商品を販売するとともに、ミクニマルシェ認定生産者が製造されるその他の特産品の販売をあわせて行いました。

両日ともに多くのお客様が訪れ、特に22日は三國シェフ自らが来場され、お客様に試食を勧めるなどPR活動をしていただいたことで多くのお客様が会場が賑わい、浜田市の味を広くPRすることができました。



3. 浜田市いちじく生産組合定期総会



2月28日、JAいわみ中央長浜事業所において、浜田市いちじく生産組合の定期総会が開催されました。

総会の中で、昨年、いちじくの出荷が始まった時期に、管内を集中豪雨が襲い、生育等の影響が懸念されましたが、生産者の皆様のご尽力により、出荷数量及び販売金額は前年を上回る結果となったことが報告されました。また、今後の取組みとして、特に、出荷数量が増えていくことに伴う規格の統一及び品質向上等に力をいれていくことが示されました。

本組合の出荷数量及び販売金額については、平成23年より、当初の目標を上回る実績で右肩上がりに推移しています。

支援センターとしても、引き続き関係機関と一体となって、いちじくの出荷振興を応援していきます。

4. H25 西条柿栽培講座が修了しました

2月13日、第7回の浜田市西条柿栽培講座を行いました。この講座は西条柿の担い手確保と技術習得を目的とし、栽培初期の方を対象として開催しているものです。この日は最終回であり、講師である西部農林振興センターの普及員の方から、栽培の振り返りと経営的な視点について座学を行いました。あわせて、近年の気象状況を踏まえ、天候に左右されない栽培についてもお話いただきました。

講座は1年を通じて、講習のみでなく実際に樹に触れながらの実習も行ってきました。受講生の中には園地の借り入れ希望者もあり、今後も随時情報を提供していくこととしています。

本講座は平成26年度も開催する予定ですので、興味のある方は当支援センターまでご連絡ください。



5. 金城町波佐地区の集落ビジョンが完成しました

3月2日、大田市の「あすてらす」において、今年度第4回目となる集落ビジョン実践塾（以下「実践塾」と言う。）が開催されました。本誌第81号でも紹介させていただきましたが、今年度浜田市では金城町波佐地区の皆様が実践塾に取組んでおられ、1年を通じて座学やワークショップを重ね、地域が抱える問題点や地域の目標について検討を続けてきました。

今回の実践塾では、県内各地域の皆様がまとめあげたそれぞれの集落ビジョン（地域の目標）を発表されました。各地域が様々な集落ビジョンを掲げられた中でも、金城町波佐地区ではベテラン・女性・若者チームの3つに分けて意見収集を行ったことで、農業・生活・自然など視野の広いビジョンを作成された点が特徴的であり、会場では集落営農法人や中山間集落協定が中心となって目標を実現できるよう、期待する声が上がりました。

集落ビジョンの作成について興味を持たれた方は、お気軽に当支援センターまでご連絡ください。

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL : 0855-22-3500 FAX : 0855-22-3477 E-mail : n-shien@city.hamada.shimane.jp